

わかぎ

平成26年4月号

<http://www.hospital-oyama.jp/>

〒323-0028

栃木県小山市若木町1-1-5

☎0285-21-3800 (代表)

病院長挨拶



総合診療と医学生の臨床実習

新病院建設と経営改善の目標を掲げて地方独立行政法人、新小山市民病院が船出して1年が経過しました。建設計画は、当初の予定通り、平成26年3月末に神鳥谷の地で起工式を挙げる事ができました。経営面でも年度計画通りに好転の兆しを見せています。これも、ひとえに市民病院に対する皆様の熱いご期待そしてご支援があったからこそ深く感謝します。

今月から、「自治医大新おやま市民病院地域医療教育センター」が市民病院内に開設され、自治医大総合診療部の教員2名が、本院において自治医大の学生（2名配属）に対する臨床実習を行います。当該教員は、学生教育とともに、内科・総合診療科に所属し、本院の通常の常勤医師と並んで勤務しています。

総合診療とは、一つの臓器に絞った専門的診療ではなく、原因の分からない病気やどれか一つに的を絞れない、多くの疾患をかかえた患者さんを対象とします。そして、どこに医学的問題があるかを見つけ、個々の患者さんの社会的状況も考慮した上で、適切な医療を提供することを目的とする診療科です。高齢化社会における有るべき医師像として、国をあげて、総合診療を担当する医師の育成に取り組んでいます。

新小山市民病院は、地域中核病院として高度急性期医療に取り組むと同時に、大学病院とはひと味違った、地域の現場に密着した医療を展開する使命があります。地域にこそ、総合診療の活躍の場があります。本院にとっては、“市民病院ならではの”特徴を活かして、大学との密接な関係を築き、臨床研修病院となることによって、医師の確保につなげたいと期待しています。皆様には、以上のことを何卒ご理解頂きまして、医学生の臨床実習等にご協力賜りますよう、心からお願い申し上げます。



平成26年4月

新小山市民病院 理事長・病院長

島田和幸

花粉症の季節です。



耳鼻咽喉科 川田和己

わずかずつ体感温度も暖かくなり、にわかに春めいた匂いを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？いよいよ花粉症シーズンの到来です！

花粉の飛散数は多い年と少ない年が交互に現れる傾向があり、2014年の飛散数は、大量飛散の翌年にあたるため、ほとんどの地域で前年より少なくなる見込みのようです。しかし、花粉症の発症には十分な花粉量となることは当然のように見込まれるため、例年通り、警戒が必要です。

花粉症の治療は、一般的に抗ヒスタミン薬の内服です。毎年発症する方はご存知の方も多いかもかもしれませんが、初期療法が有効です。初期療法とは、花粉飛散開始とともに、または症状が少しでも現れた時点で内服を開始することです。要は、少し早めに内服を開始すると、発症の時期を遅らせることや最盛期の症状を軽くすることにつながります。毎年のように発症する方は、ぜひ試してみてください。

また、症状に合わせて、点鼻薬や点眼薬も併用します。症状に合わせて、うまく使いわけてみてください。

当院では、これら対症療法で症状緩和が困難な方を対象に、レーザー治療も行っております。希望がございましたら、ご相談ください。

巷では、舌下免疫療法という新しい治療が開始されます。まだ、実際に開始する施設は全国的に少数ですが、今後、一般的な治療として浸透していく可能性を秘めています。

情報が集まりましたら、今後ご報告させていただきます。

花粉症対策を抜き取りなく、健やかな春をお迎えください！





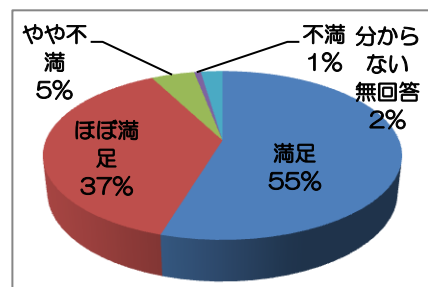
第2回外来患者満足度調査の結果から

平成26年3月27日(木)・28日(金)の2日間、外来の患者さんを対象に実施した患者満足度調査の結果をご報告します。アンケートは、454枚配布し回収は453枚(回収率99.9%)と高い回収率でした。ご協力ありがとうございました。

今回は「職員の対応について」の結果を記載します。

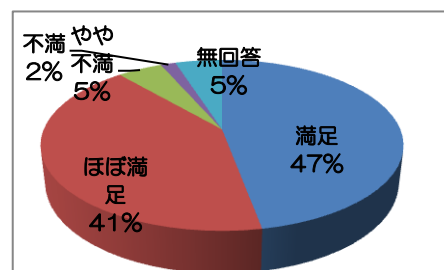
1. 医師について

医師に対して「満足」と回答した平均は、約54%でした。「態度、言葉遣い、身だしなみ」については、58.1%でしたが、「治療や検査、質問に対する説明は十分か」については、53.2%と低い結果でした。具体的なご意見では、「面倒くさそうに対応された」「患者の質問をよく聞いてくれない」「聞かないと説明がない」「画像ばかりでなく、辛いところも良く触ってみて欲しい」などがありました。



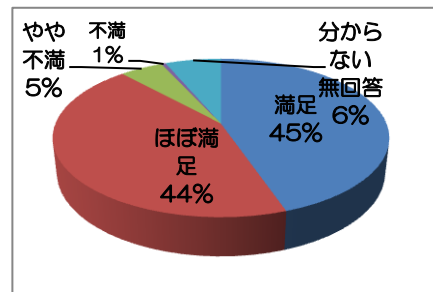
2. 看護師について

看護師に対して「満足」と回答した平均は、約47%でした。「態度、言葉遣い、身だしなみ」については、53.0%でしたが、「待ち時間の説明や、体調・診察に対する気配り」は39.1%と低く、さらに不満の回答も3.8%ありました。具体的なご意見では、「待ち時間の説明がなかった」「待ち時間が長すぎる」「待ち時間がわからない」など、待ち時間の対応についてのご意見が多くありました。



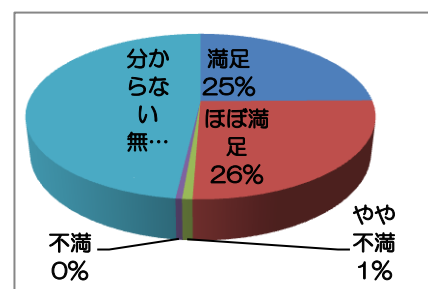
3. 事務職員について

事務職員について「満足」と回答した平均は、約45%でした。「満足」の回答は、「態度、言葉遣い、身だしなみ」については、46.4%、「新患受付、診察科、会計での案内はわかりやすいか」は、44.8%、「あいさつ、待ち時間に対する説明はていねいか」では、43.0%でした。具体的なご意見では、「あいさつに返事がない」「説明もなく長い時間待たされた」「私語が多い」「新患は予約が終わってからということを教えて欲しかった」「待ち時間が長いので尋ねると、態度が悪かった」など多くの厳しいご意見がありました。



4. その他の職員について

質問項目は2項目であり、「満足」の回答の平均は、約25%でした。これは、満足度が低いのではなく、約48%が「わからない・無回答」であり、患者さんが実際に接することがない職員も多くいるためではないかと思われま。具体的なご意見では、「もっと自ら話しかけて」「笑顔で対応してくれた」「気分をよわらせてくれた」など良いご意見もいただきましたが、技術面で改善を求めるものもありました。



まとめ

今年度は、昨年度に続き2度目の外来患者満足度調査を行いました。病院全体に満足度は、残念ながら全体的に昨年より低い結果でした。

「態度・言葉遣い・身だしなみ」についてはどの職種も一番満足度は高い結果でしたが、「説明」に関する項目については、満足の回答が少ないという結果が出ています。患者さん・ご家族一人ひとりに目を向け、患者さん・ご家族の立場に立った対応ができるよう努力していきたく思います。

